本巣市民報 9月号外

2025年9月 発行 ／ 日本共産党本巣市委員会 ◆ Tel.090-7676-0818

●日本共産党本巣市委員会の政策・見解などを紹介しております。

住民が主人公の本巣市をめざして

日本共産党本巣市委員会は、
次期本巣市議選に

沢村 ひとし 氏

を擁立しました

保護者の皆さん！ご存知ですか？

2025年（令和7年）8月28日（木）

県立高貸与のタブレット端末

来春から自己負担

県教委方針

公費で負担していた県立高校の生徒が授業で使うタブレット端末について、県教育委員会が2026年度の入学者から自己負担での導入を求める方針を決めたことが、分かった。保護者らでつくる団体は「負担が大きすぎる」として反対署名の実施を決めた。

県教委によると、対象は2026年度以降の県立高校と特別支援学校高等部の入学者全員。各学校が設置や学科に応じて指定する機種のタブレット端末かパソコンを、個人で準備してもらう。県が推奨する民間サイトで購入した場合、6万～10万円程度を想定しているという。

自己負担の方針について、県教委は28日にホームページに初めて方針を掲載した。OS（基本ソフト）や記憶容量、画面サイズなどの必要な仕様は、12月ごろまでに公表するという。

県教委は2021年度から県立高校生徒が授業で使うタブレット端末を公費で購入し、全員に貸与してきた。方針の変更について「国のコロナ対策交付金が乏しくなり、端末の更新時期となり、自己負担を求めることにした」と説明する。試算では、これまで同様に公費で用意した場合、3学年分で約6億円が必要になるという。低所得者世帯などには、現在ある端末を貸与することを検討しているという。

これに対し、県内の保護者ら約10人でつくる「生徒用タブレット端末の今後を考える会」が28日、県庁で記者会見し、「少子化対策、子育て支援を強調する県が逆の流れに進行するものだ」と反対を表明した。

中3の息子がいる保護者は「昨日、急に市教委からメールで知らされ、驚いた。予算が無いからと、いきなり保護者に負担させるのはどうなのか」と話した。

会は9月末まで、公費による端末を求める署名活動をし、県教委や江崎禎英知事に提出する。問い合わせは同会事務局（0258・21-7400）へ。（教育面）

県立高校生徒用のタブレットの自己負担化に反対し、記者会見する保護者らＩＭ県庁

保護者らの団体「負担大きい」反対署名へ

オンライン署名のQRコード

県立高校のタブレット突然！保護者負担に！県教委発表

岐阜県教育委員会が、県立学校と特別支援学校高等部における生徒用タブレット購入費用の全額を保護者負担とする「方針」を8月下旬に発表しました。当事者である保護者からの意見をまったく聴くこともなく、突然の「決定」です。

保護者に何の相談もなく決めていいの？負担が大変です

当事者である保護者からは、「上の子どもが高校に入学する時には、制服代、教科書代、体操服代、スリッパ代、定期代など20万円近くかかった。更に10万円近く払えって言われるとほんとに困る。」「せっかく授業料無償化になったと思ったら、保護者方針によると、来年度（2026年度）から原則として保護者は県が指定する6万円～10万円のタブレット端末の購入を入学時に求められるということです。それだけでなく、附属品やアプリの購入費用も求められる可能性もあります。これまでは全額「公費負担」（全家庭へのタブレット貸与）でしたが、突然の大きな方針転換です。

の負担が増えるの？ 少子化対策にならないわ。」などの声が寄せられています。先生方からは、「多額の出費を強いる割に授業でそこまで必要になるのか。様々な懸念があります。」との声が聞こえています。国主導で「IT活用」が決まり、その効果検証は不十分のまま、今度は保護者負担を求められることになったのです。高校で全額保護者負担となれば、今は公費負担で児童・生徒に貸与されている小中学校においても、全額保護者負担となる可能性も高まります。

私たちの声を聞いて！9月中に「緊急署名」を知事・教育長に出します

今回の事態に、保護者の方々が呼びかけて「生徒用タブレット端末の今後を考える会」を結成し、県庁で記者会見を開きました。「開始されるのが半年後とはあまりにも早すぎます。まずは当事者である私たち保護者の意見を踏まえて、もっと時間をかけて丁寧に議論をしていただきたいと願っています。そしてこれまで同様に公費による援助を求めます。」と訴えられました。

岐阜県は高校生用タブレット「全額保護者負担」の方針を見直してください

オンライン緊急署名をこちらからお願いします。

全会一致で片岡市議に辞職勧告

6月議会では「保護者からの訴えがあった」という事実が確認できず、「もう少し詳しく知り得ないと判断できない」と決議に反対しました。その後に片岡市議が議長からの注意をうけ「見守りはしません」と約束し、かつ私に事実に反するメールを送りながら、通学の見守り隊を始めたことをもって9月議会で決議に賛成をしました。

（ときの会ニュースの記事への問い合わせに答えて）